

市川シビックロータリークラブ会報



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度

会 長：井上喜久男

会長エレクト：長谷川泰士

副 会 長：大塚 恵二

幹 事：宇田川純一



都古流一孝会 内田一孝作

◆出席委員会

鈴木委員

■会員総数：27名

出席計算に用いた会員数
25名

■出席会員数：19名

■出席率：76.0%

■前々回補正出席率：一

■メイクアップ：一

●ゲスト

江戸川病院
スポーツ医学科部長
岩本 航 様

●ビジター

なし

■本日のプログラム

第1336回 2024.5.27
会員卓話

■次回のプログラム

第1337回 2024.6.3

諸祝

会員卓話

(親睦活動・

ニコニコボックス委員会)

第1335回 2024.5.20 例会報告

会長挨拶

井上 喜久男 会長

皆さん今晚は。

先週の市川法人会の定時総会で、当クラブの名誉会員である田中甲市川市長がゴールドシニア75を紹介されました。市川市在住で75歳以上の市民は、バス100円チケット10枚・タクシー500円チケット5枚支給されます。申請は市役所ホームページ、窓口申請です。当クラブも8名いらっしゃいます。

「先人たちの知恵を見直そう」

人は一人きりでは生きていけません。だれしも家族をはじめ、学校や職場などの身近な人間関係から、地域社会や国に至るまで、広く、多くの「つながり」の中で生きているのです。そうした「つながり」を円満なものにするために、私たちの先人は様々な知恵を蓄積してきました。それらが「社会生活を営む上での指針」として暮らしの中に取り込まれ、慣習や風習、あるいは社会のモラルという形で世の中に浸透していったのでしょう。礼儀やマナーもまた、もともととはそのようにして生じ、今日まで伝えられてきた知恵の一つということができます。

それらは文化によって異なる面もありますし、「時代遅れで古臭く、堅苦しいもの」としてとらえられる向きもあるかもしれませんが、そこに込められた「心」に改めて目を向けると、今を生きる私たちも顧みるべき事柄が含まれているように思われます。

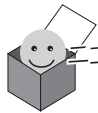
日々愛する人たちを大切に、敬愛や感謝の気持ちを忘れないこと。その心を具体的に表し、積極的に伝えていくこと。それは人間関係や社会生活を円滑にするうえで役立つだけでなく、自分自身の人間力を磨くことにつながります。その積み重ねはより良い人生の礎になっていくことでしょう。

本日は、ゲスト卓話で、岩本航医師のスポーツ医学の卓話です。よろしくお願いいたします。

幹事報告

宇田川 純一 幹事

特にありません。



BOX 宮本委員

●岩本先生、卓話よろしくお願いいたします。
井上会長／宇田川幹事
内田／上條／塚本／田中／中村(源)／長谷川／
古山／大塚／鈴木／佐藤／宮本／渡邊／板橋／
中村(裕) 各会員



卓 話

江戸川病院
スポーツ医学科部長
岩本 航 様

岩本 航 (いわもと わたる)
江戸川病院 スポーツ医学科部長
1978年3月18日生まれ(46歳)
妻・息子2人の4人家族

■略歴

- 2004年
関西医科大学医学部卒業
- 2010年
慶応義塾大学スポーツ医学総合センター
- 2012年
船橋整形外科 肩肘関節センター
- 2013年
新東京病院スポーツ関節センター
- 2015年
東邦大学医学部医学科 客員講師
江戸川病院 スポーツ医学科部長

■社会活動

- NPO法人江戸川スポーツ医学研究会
理事長
- 日本整形超音波学会 幹事
- 日本体操協会 医療サポート委員
- 南葛SC チームドクター
- 市川FC チームドクター

野球をしている子どもたちは、数%で離断性骨軟骨炎(りだんせいこつなんこつえん)という病気が起きてしまいます。痛くて病院に来るころには、手術が必要なくらい悪化していることがあります。

私たちは、2017年にNPOを作り子どもたちに野球肘健診を行っています。その活動により江戸川区・葛飾区での子どもたちの離断性骨軟骨炎の発生は低下してきています。

今回、我々の取り組みについて紹介させていただき、皆さんに活動のことを知っていただける機会になればと思っています。

